

自閉症の人のための工夫を紹介

～ゆうゆうセンターモデルルーム展示から～

ゆうゆうセンター（発達障がい者支援センター）では、自閉症の人の脳タイプ、学習スタイルに合わせた支援グッズや、家庭や事業所における環境設定の工夫を「モデルルーム」として展示しました。

今回は、モデルルーム中から、過ごしやすい環境の工夫、予定の伝え方の工夫（スケジュール）、片付けの工夫についてご紹介します。

1 自閉症の人が過ごしやすい環境の工夫

環境の境界を明確にするためにパーティションやマットでエリアを分けています。

人の動きや気が散るものが見えないことで、落ち着いてすべきことに集中できる方も多いです。



● ひとりで勉強 ●
ついでで周囲の見える刺激を減らしています。三段ボックスから課題を取り、終わったら右横の「終了箱」に入れていきます。



● 着替え ●
脱いだ服は左側のかごに入れます。椅子に座って、三段の棚の上から順に着ていきます。
周囲の刺激が見えないので、集中して着替えやすくなっています。



● あそび ●
狭い空間が落ち着きます。青いマットが敷いてあり、遊びの場所が明確になっています。おもちゃの収納場所は写真で示しているのので、終わったらどこに片づけるのかわかりやすくなっています。